

③ 中高 音楽科問題の解答について (注意)

1. 問題【1】～【11】、【12】(2)、【13】(1)(2)、【14】(1)(2)(3)(ア)(イ)の解答は別紙のマークシートに
 問題【12】(1)、【13】(3)(4)、【14】(3)(ウ)(エ)、【15】の解答は解答用紙に } 記入すること。
2. 問題【1】～【11】、【12】(2)、【13】(1)(2)、【14】(1)(2)(ア)(イ)の解答 (マークシート使用) については、次の点に注意すること。
 - ① マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
 - ② 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照)
 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
 - ③ 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
 - ④ 名前の記入 名前を記入すること。
 - ⑤ 教科名の記入 教科名に「音楽」と記入すること。
 - ⑥ 解答の記入 ア. 【1】～【11】、【12】(2)、【13】(1)(2)、【14】(1)(2)(3)(ア)(イ)の小問の解答番号は1から55までの通し番号になっており、例えば、10番を 10 のように表示してある。
 イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 エ. 各小問に対して一つずつマークすること。
3. 解答用紙は、キリトリ線で切り離して使用すること。
4. 解答用紙に受験番号を記入すること。

(マークシート記入例)

フリガナ	ユウベタロウ	教科名	音楽
名前	神 戸 太 郎		

受験番号	小問番号	解答記入欄 1 - 25	小問番号	解答記入欄 26 - 50	小問番号	解答 51
数字で記入……		1 2 3 4 0	1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【1】平成30年4月から小学校、特別支援学校小学部、平成31年4月から中学校、特別支援学校中学部で全面实施される「特別の教科 道徳」（道徳科）について、下の問いに答えよ。

(1) 道徳科の授業で、「道徳的価値の理解」について指導する際に、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 授業者の意図や工夫による学習を行う。
- ② 特定の価値観を児童生徒に押し付ける指導を行う。
- ③ 道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さについても指導する。
- ④ 道徳的価値を基に、自己を見つめることができるような学習を行う。
- ⑤ 児童生徒自らが様々な視点から物事を理解し、主体的に取り組む学習を行う。

1

(2) 「道徳科の評価」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握する。
- ② 教師にとっては、指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となる。
- ③ 児童生徒の指導に生かすために、数値等による評価を行う。
- ④ 児童生徒がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価を行う。
- ⑤ 評価に当たっては、道徳科の学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で把握する。

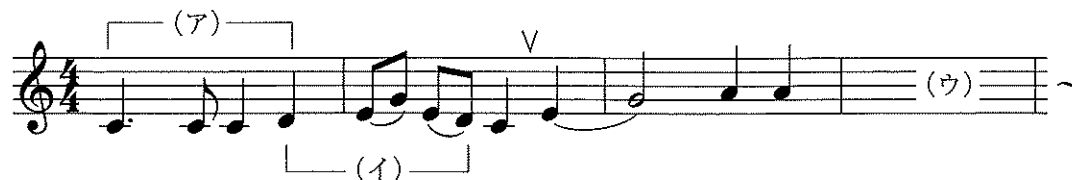
2

(3) 道徳科の評価としての「見取り」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 教師や他の児童生徒の発言に聞き入ったり、考えを深めようとしていたりしている姿に着目する。
- ② 児童生徒の変容は、学級担任のみで見取る。
- ③ 発言や感想文、質問紙の記述等から見取る。
- ④ 道徳的価値を自分のこととして捉えているか、丁寧に見取る。
- ⑤ 一人一人の学習の困難さに応じた評価につながるよう見取る。

3

【2】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。



(1) (ア) と同じリズムで始まる曲を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① スキーの歌 ② もみじ ③ ふじ山 ④ 茶つみ ⑤ 虫のこえ

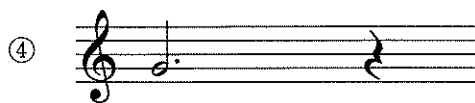
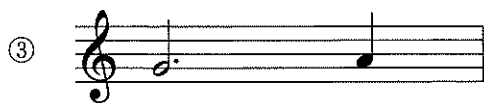
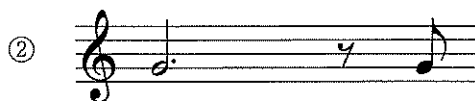
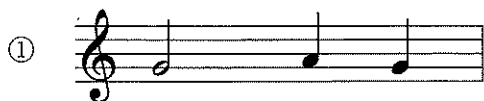
4

(2) (イ) にあてはまる歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① なみき ② ひつじ ③ きりの ④ あかい ⑤ もりや

5

(3) (ウ) の部分にあてはまる旋律を①～⑤から選び、番号で答えよ。



6

(4) この曲にふさわしい速度記号を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ♩ = 58～63 ② ♩ = 68～78 ③ ♩ = 84～92

- ④ ♩ = 126～138 ⑤ ♩ = 144～156

7

(5) この曲が表現している情景としてふさわしいものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 月のやわらかい光が美しい自然を包み込んでいく様子
 ② はなやかで美しい紅葉の様子
 ③ 真新しい雪の上をスピードに乗ってすべる様子
 ④ 霧に包まれた朝の牧場の活気あふれる様子
 ⑤ 冬になり始めたころの早朝の入り江の様子

8

【3】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

「夏の思い出」

(1) この曲の作詞者と作曲者の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 江間 章子・中田 章 ② 北原 白秋・滝 廉太郎
③ 江間 章子・中田 喜直 ④ 三木 露風・滝 廉太郎
⑤ 土井 晩翠・山田 耕筰

9

(2) この曲の調の下属調を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① イ短調 ② ニ長調 ③ ロ短調 ④ イ長調 ⑤ ト長調

10

(3) (ア) (イ) にあてはまる強弱記号として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① *pp* ② *p* ③ *mp* ④ *mf* ⑤ *f*

(ア)	(イ)
11	12

(4) (ウ) (エ) にあてはまる記号の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① (ウ) — (エ) — ② (ウ) > (エ) —
③ (ウ) — (エ) ◡ ④ (ウ) > (エ) ◡
⑤ (ウ) ◡ (エ) —

13

【4】和楽器について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、箏の調弦についての説明である。(ア)(イ)にあてはまる適切な語句は何か。①～⑤から選び、番号で答えよ。

演奏の前に(ア)の位置を調整して、曲に合った調弦をする。

- ① 巾 ② 駒 ③ 糸 ④ 柱 ⑤ 斗

「平調子」は箏のもっとも基本的な調弦法で(イ)音階をもとにしている。

- ① 律 ② 短 ③ 民謡 ④ 沖縄 ⑤ 都節

(ア)	(イ)
14	15

(2) 次の文は、三味線についての説明である。(ア)(イ)にあてはまる適切な語句は何か。①～⑤から選び、番号で答えよ。

三味線にはたくさんの調弦法がある。その中で次の楽譜に示すものを(ア)という。



- ① 本調子 ② 雲井調子 ③ 二上り ④ 三下り ⑤ 六下り

三味線は左手で糸を押さえることによってさまざまな音高を得ることができる。この押さえるときの正しい位置のことを(イ)という。

- ① 勘所 ② サワリ ③ 根緒 ④ 上駒 ⑤ ハジキ

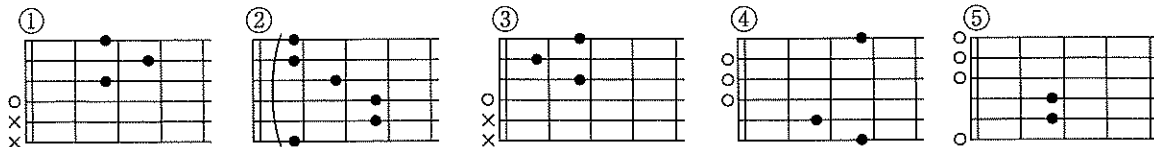
(ア)	(イ)
16	17

【5】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

「カントリーロード」

(1) 曲中の (ア) (イ) のコードをギターで演奏するときのダイヤグラムを①～⑤から選び、番号で答えよ。



(ア)	(イ)
18	19

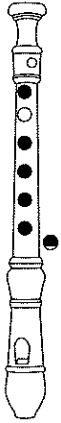
(2) 左手でコードを押さえながら、右手で何本かの弦を同時にかき鳴らすギターの奏法を何というか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ラスゲアード奏法 ② アル アイレ奏法 ③ ストローク奏法
 ④ アルペッジョ奏法 ⑤ アポヤンド奏法

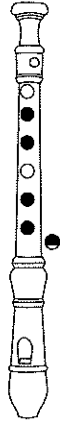
20

(3) バロック式アルトリコーダーで、(ウ)の音を演奏するときの運指を①～⑤から選び、番号で答えよ。

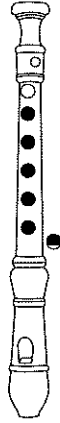
①



②



③



④



⑤



○開ける

●閉じる

●サミング

【6】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。

尺八

箏

(1) 次の文は、この楽曲の作曲者について書かれたものである。(ア)～(ウ)にあてはまる語句を①～⑨から選び、番号で答えよ。

この曲を作曲したのは（ア）である。これまでに箏曲としてあった曲を演奏するだけでは満足できずに、14歳のとき、箏曲（イ）を発表し、作曲家としての道を歩み始めた。古来の邦楽に洋楽的な要素を取り入れた（ア）の新しい様式の作品を理解し、後援を惜しまなかった人々の中に尺八奏者の吉田清風がおり、二人は（ウ）の普及運動を展開した。

〈語群〉

① 沢井忠夫	② 新日本音楽	③ 宮城道雄	④ 水の変態	⑤ 八橋検校
⑥ 国民楽派	⑦ 瀬音	⑧ さくら変奏曲	⑨ 新古典主義音楽	

(ア)	(イ)	(ウ)
22	23	24

(2) 次の文のうち、適切でないものを①～⑧から2つ選び、番号で答えよ。

- ① この曲は箏と尺八による二重奏曲で、A－B－A'の三部形式になっている。
- ② この曲の始めの部分は波やかもめの声などを描写した速度が緩やかな部分である。
- ③ この曲の中間部は陽気な舟歌と春霞ののどかな感じを巧みに織り交ぜた速度が緩やかな部分である。
- ④ この作曲者は昭和7年に来日したフランスのバイオリニスト、シュメーとこの曲を共演した。
- ⑤ 尺八は竹で作られており、表に5つ、裏に1つの穴があいている。
- ⑥ 箏の弦の名前は、向こう側から手前に向かって順に一三三四五六七八九十斗為巾という。
- ⑦ この作曲者は、神戸の生田流箏曲家、二世中島検校に師事して箏を学び始めた。
- ⑧ この作曲者は、伝統楽器の改良や新楽器の発明にも力を入れ、十七弦の箏を考案した。

25	26
----	----

【7】 次の楽譜について、下の問いに答えよ。

The image shows two staves of musical notation. Staff A is in treble clef, key of D major (two sharps), and 4/4 time. It features a melodic line starting with a series of eighth notes, followed by a trill on a note, and then a series of eighth notes with grace notes. Staff B is also in treble clef, key of D major, and 4/4 time. It features a melodic line with a series of eighth notes, followed by a trill, and then a series of eighth notes with grace notes. Both staves have a double bar line in the middle.

(1) 次の文の (ア), (イ) にあてはまる語句を①～⑩から選び、番号で答えよ。

この曲を作曲した (ア) は、養育院で音楽の教師を務めた。その生徒たちの演奏会のために、この曲のような (イ) を数多く作曲した。

〈語群〉

① シューベルト	② バッハ	③ モンテヴェルディ	④ ヴィヴァルディ	⑤ ヘンデル
⑥ 独奏曲	⑦ 協奏曲	⑧ 宗教音楽	⑨ 交響曲	⑩ 合唱曲

(ア)	(イ)
27	28

(2) この曲の第1楽章の形式は何か。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① リトルネッロ形式 ② 複合三部形式 ③ フーガ ④ ソナタ形式 ⑤ 主題と変奏

29

(3) Aの楽譜にあてはまるソネットを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 暖かい暖炉で人々が安らかに過ごす間に、万物は恵みの雨で潤う。
 ② 嵐がやむと、小鳥はまた歌い始める。
 ③ 恐るべき雷鳴と稲妻、麦の穂を折り、穀物を打ち倒す。
 ④ 泉はそよ風に誘われ、ささやき流れていく。
 ⑤ 黒雲と稲妻が空を走り、雷鳴は春が来たことを告げる。

30

(4) 次の文のうち、この曲の説明として適切なものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ア この曲の第1楽章は、合奏部分と独奏部分が交互に現れる。
- イ この曲は、4つの楽章から構成されている。
- ウ この曲では楽譜Bの旋律が2回演奏される。
- エ この曲の第1楽章の速度はAllegroである。
- オ この曲ができた時代は、通奏低音をピアノフォルテが受けもった。

- ① ア イ エ ② ア ウ オ ③ ア エ ④ イ ウ ⑤ イ エ

31

【8】音楽史に関する次の問いに答えよ。

(1) 次の楽曲ア～エを、作曲された年代の古い順に並べたものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | | |
|------------------|----------------|
| ア 交響曲第6番「悲愴」 | イ 交響曲第100番「軍隊」 |
| ウ 交響曲第41番「ジュピター」 | エ 交響曲第3番「英雄」 |

- ① イーウーエーア
- ② イーエーアーウ
- ③ ウーイーエーア
- ④ ウーエーイーア
- ⑤ エーイーアーウ

32

(2) 次の文の()にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

()の音楽は、均整や調和を理想とし、教会や聖堂で歌うア・カペラ合唱において透明でよどみない響きを追求した。中心となったのは各声部が対等で、それぞれが独立した動きの旋律を持つポリフォニーである。その典型はフランドル楽派の音楽に見られる。

- ① ルネサンス時代 ② バロック時代 ③ 古典派 ④ ロマン派 ⑤ 近代

33

(3) ロシア五人組の作曲家でないものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① キュイ ② ボロディン ③ バラキレフ
- ④ ラフマニノフ ⑤ リムスキー＝コルサコフ ⑥ ムソルグスキー

34

(4) 次の文が説明している楽曲の楽譜の一部を①～⑤から選び、番号で答えよ。


19世紀にはパリで5回の万博が開かれている。万博をきっかけに、当時のフランスの美術界では日本の浮世絵が大流行し、印象派の画家たちに大きな影響を与えた。

この曲の初版の楽譜の表紙には、葛飾北斎の「富嶽三十六景」に似た絵柄が使用された。

① 

② 著作権保護の観点により、掲載いたしません。 「春の祭典」

③ 

④ 

⑤ 

【9】 民族音楽に関する次の問いに答えよ。

(1) 日本の箏と同じ構造をもつ朝鮮半島の楽器を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① カンテレ ② カヤグム ③ アルファー
④ チャランゴ ⑤ グージョン (グーチン)

36

(2) 次の文は、世界の音楽についての説明である。(ア) (イ) にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

トルコに伝わる民謡の一種である (ア) とは「長い歌」「長い旋律」を意味する。恋の歌や死者のための嘆きの歌が多く、拍節のない自由なリズムで歌われる。通常、伴奏には弦楽器のサズが用いられる。

- ① メヘテルハーネ ② マリアチ ③ ウズン・ハワ
④ ヨーデル ⑤ オルティンドー

西アフリカ、セネガルなどの (イ) は声で人々を寿ぐ芸人で、即興的に言葉を紡ぎ歌いながら、歴代の王族や土地の名士などの名前を称える。伴奏には太鼓やコラという独自の楽器も用いられる。

- ① ゴスペル ② カッワーリー ③ ジンジュ
④ ガムラン ⑤ グリオ

(ア)	(イ)
37	38

【10】日本の民謡について、(ア)～(エ)にあてはまる適切な語句を①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) 日本の民謡には、ソーラン節や江戸の鳶木遣などの（ア）、熊本県五木地方などに伝わる子守歌、デカンショ節や（イ）などの盆踊歌など、さまざまなタイプのものがある。
- (2) 日本の民謡のリズムは、佐渡おけさなどの拍節がはっきりしているものと、南部牛追い歌などの拍節のない自由なリズムによるものがある。このうち、後者のものを（ウ）という。
- (3) 日本の民謡の歌い方で、歌い手が即興的につける細かい音の動きのことを（エ）という。

〈語群〉

① 産字	② 追分様式	③ 座敷歌	④ 仕事歌	⑤ コブシ
⑥ ビブラート	⑦ 草津節	⑧ 斎太郎節	⑨ 郡上節	⑩ 音頭一同形式

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
39	40	41	42

【11】次の文は、小学校・中学校（平成20年3月告示）・高等学校（平成21年3月告示）の学習指導要領の一部である。次の(ア)～(エ)はそれぞれどの校種のものか。適切なものを①～③から選び、番号で答えよ。（同じ番号を何度使ってもよい）

- (ア) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、姿勢や身体の使い方についても配慮すること。
- (イ) 和音及び和声の指導については、合唱や合奏の活動を通して和音のもつ表情を感じ取ることができるようにすること。また、長調及び短調の楽曲においては、I、IV、V及びV₇などの和音を中心に指導すること。
- (ウ) 内容のAの(3)の指導^{*}に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。
- (エ) 器楽の指導については、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、和楽器の指導については、3年間を通じて1種類以上の楽器の表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫すること。

※内容のAの(3)の指導は「創作」の指導を意味する。

〈語群〉

① 小学校音楽	② 中学校音楽	③ 高等学校芸術科音楽
---------	---------	-------------

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
43	44	45	46

【12】「歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう」という学習目標を設定し、「いつでもあの海は」を教材に小学校5年生で授業を行う。次の問いに答えよ。

いつでもあの海は

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- (1) この学習目標を設定して授業を行う時、取り扱うべき音楽を形づくっている要素は何か。学習指導要領に示されている〔共通事項〕を解答用紙に1つ書け。(解答は平成20年3月告示、平成29年3月告示いずれの学習指導要領のものでもよい)
- (2) (1)の観点から指導する際、ポイントとなることが書かれた文はどれか。適切なものを①～⑦から3つ選び、番号で答えよ。
- ① アの部分はユニゾンになっているので、みんなの声の響きがひとつになるように歌う。
 - ② アの部分はゆったりとした波の感じを表現できるような速度で歌い、イからは速度を変えて前へ進むように歌う。
 - ③ イの部分は和声的な重なりになっているので、それぞれの旋律のフレーズが途中でとぎれないように歌う。
 - ④ イの部分は多声的な重なりになっているので、互いによびかけあうように歌う。
 - ⑤ イの部分は主旋律と副旋律が同じリズムになっているので、リズムに気をつけて歌う。
 - ⑥ ウの部分は和声的な重なりになっているので、互いの声を溶け合わせて、全体の響きを感じながら歌う。
 - ⑦ ウの部分は多声的な重なりになっているので、互いの声を聴き合って歌う。

【13】「曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう」という題材で「交響曲第5番 ハ短調」(ベートーヴェン作曲)を教材にして、中学校第2学年で鑑賞の授業を行う。次の問いに答えよ。

第1楽章 第1主題

楽譜 ア 

第1楽章 第2主題

楽譜 イ 

第4楽章 第2主題

楽譜 ウ 

(1) この曲の第1楽章と第4楽章の形式を①～⑤から選び番号で答えよ。

〈語群〉

- ① フーガ ② 複合三部形式 ③ ロンド形式 ④ パッサカリア ⑤ ソナタ形式

50

(2) (1)の形式の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 3拍子のゆったりとした舞曲。一定の和声進行または低音音型が繰り返される変奏曲形式をもつ。
- ② 始めに示された主題が次々と加わるほかの声部によって、繰り返されながら発展していく形式。
- ③ 提示部、展開部、再現部、コーダ(コーダは無い場合もある)のまとまりをもつ形式。
- ④ 3つの部分で構成されているが、さらに各部分がいくつかの部分からなっている形式。
- ⑤ 一般的に軽快な曲想をもち、 $\boxed{A}\boxed{B}\boxed{A}\boxed{C}\boxed{A}\boxed{B}\boxed{A}$ のように異なる部分を間にはさみながら同一の主題を何度も反復する形式。

51

(3) 楽譜アと楽譜イを対比したとき、曲想の変化をもたらす音楽の要素は何か。学習指導要領に示されている〔共通事項〕を1つあげ、それによる曲想の変化について、例にならって解答用紙に記述せよ。

(4) 楽譜ウでは、第1楽章の動機がどのように変化したか。楽譜から分かることを3点、解答用紙に記述せよ。また、それによって第4楽章はどのような曲想になるかを解答用紙に記述せよ。

【14】 楽典に関する次の問いに答えよ。

(1) 次の楽譜のAとBの音符の長さの関係を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① AはBの3分の1倍である。 ② AはBの3分の2倍である。
 ③ AはBの2分の1倍である。 ④ AはBの2倍である。
 ⑤ AはBの3倍である。

52

(2) 次の楽譜を演奏すると何秒かかるか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 18秒 ② 24秒 ③ 30秒 ④ 36秒 ⑤ 54秒

53

(3) 次の楽譜について下の問いに答えよ。

(ア) 楽譜中のAで示された2音間の音程を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 増2度 ② 長2度 ③ 短2度 ④ 完全4度 ⑤ 減4度

54

(イ) 楽譜中のBで示された和音が属する調として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、短調は和声的短音階とする。

- ① B dur ② Es dur ③ As dur ④ g moll ⑤ f moll

55

(ウ) 楽譜中のCで示された音が基音となるときの第8倍音を解答用紙の五線に全音符で記譜せよ。

(エ) 楽譜中の高音部譜表の旋律をB^b管クラリネットで演奏できるように調号を用いて書き換え、解答用紙の五線譜に記譜せよ。

【15】 指定されたりズムと和音記号を用い、ソプラノリコーダーの二重奏を完成させ、解答用紙に記入せよ。

ただし、↓の音符のみに非和声音を用いること。

I

II

V₇

受験番号

③ 中高 音楽科解答用紙(1)

【12】

(1)	
-----	--

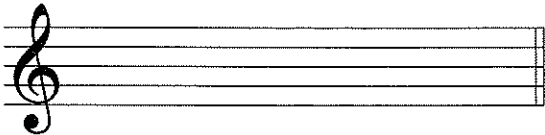
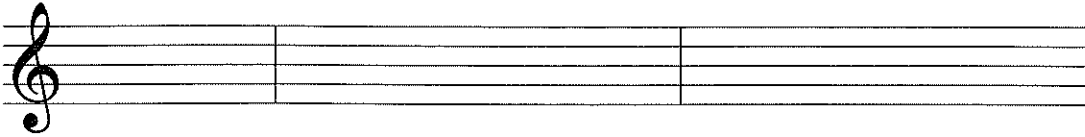
小計

【13】

		要素		曲想の変化
(3)	例	強弱	アは <i>ff</i> であるのに対しイは <i>p</i> になっている	アが力強く堂々とした雰囲気であるのに対して、イでは静かで落ち着いた雰囲気となっている。
(4)	変化したこと			第4楽章の曲想

小計

【14】

(3)	(ウ)			
	(エ)	クラリネット in B ^b		

小計

キリ線

③ 中高 音楽科解答用紙(2)

【15】

1

2

I II V₇

小計